



患者・医療者交流コース（インテンシブコース）

がん医療の現状と がん患者・サバイバーのかかわり方



日時：2019年3月9日（土）17:30-19:30

場所：大阪国際がんセンター6階中会議室

第1部 講義 「がん医療の現状と変遷」

第2部 演習 「がん患者の立場からどのようにがん医療にかかわっていくべきか」

講師 松浦成昭

（大阪大学特任教授・大阪国際がんセンター総長）

2007年からがんプロフェッショナル養成プラン（がんプロ）が始まり、がん医療の人材育成が国家事業として実施されてきました。

その結果、10年前には少数であった薬物療法、放射線治療、緩和ケア等に携わる様々な専門職種が全国各地で養成され、医療現場での活躍が始まりました。がんプロはがん医療に関わる専門職種を育成するプランでしたが、がん医療にはもっと多様な人材が必要になってきました。

その背景にはがん医療そのものが時代とともに大きく変化してきたことがあります。がんを見つけて治療するということの重要性は現在も変わりませんが、それに加えて患者さんが、がんになる前と同じような普通の生活ができるようになるためのサポートも同じくらい大事だと考えられるようになりました。その意味から、がんプロの教育は専門医療職だけではなく、患者さんにも向けられるべきものと考えます。本コースは患者さんを対象にしてがん医療の現状について勉強してもらい、課題について医療専門職と議論することを目的としています。色々な立場の方の参加を歓迎します。

お問い合わせ先：がんプロ事務局
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
TEL. 06-6879-2472 FAX. 06-6879-2629
Mail:ganprojim-med@ml.office.osaka-u.ac.jp
URL:<http://www.osaka-ganpro.jp/>

